

0350067

整理番号:A000204723 発送番号:147174 発送日:平成17年 4月26日

1

特許理由通知書

特許出願の番号	特願2002-300912
起案日	平成17年 4月19日
特許庁審査官	前田 仁 7815 5J00
特許出願人代理人	鈴江 武彦(外 6名) 様
適用条文	第29条第2項

17.6.25

<<< 最 後 >>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

・請求項1、5について

引用文献1(3図、5図、8図とその説明等参照。)、引用文献2(段落【0031】等参照。)には、移動局が自身で検出した位置を考慮して基地局を選択することが、引用文献3(段落【0018】等参照。)には、基地の選択に移動局の位置と移動方向を考慮することが、それぞれ記載されている。

・請求項2、6について

請求項に直接かかれた事項は、刊行物4に見られるように周知である。

・請求項3、7について

請求項に直接かかれた事項は、引用文献を示すまでもなく周知である。

・請求項4、8について

請求項に直接かかれた事項は、引用文献5の段落【0026】参照。

3K

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-278735公報
2. 特開平07-143544号公報
3. 特開平11-103479号公報
4. 特開平09-163430号公報
5. 特開2002-190769号公報

最後の拒絶理由通知とする理由

1. 最初の拒絶理由通知に対する応答時の補正によって通知することが必要になった拒絶の理由のみを通知する拒絶理由通知である。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第4部伝送システム 前田 仁
TEL. 03 (3581) 1101 内線3533

④把多孔制備器轉到另一位置繼續取樣分析出乙酸鹽分子量分布。

【0020】图3-12-2-17、算源方式又叫子母法，是将一个大系统的数据按功能模块分解为若干个子系统，各子系统相对独立，但又相互联系，从而达到简化设计的目的。

(作用) 上配基地局位置上基DCT、現在位置办与最適
的位置化办与基地局之選折下是已上DCT、信号強度
过大者之甚地局之選折下是已上DCT、通信工具一〇少
好、高音質之安定化通信を実現下是已。

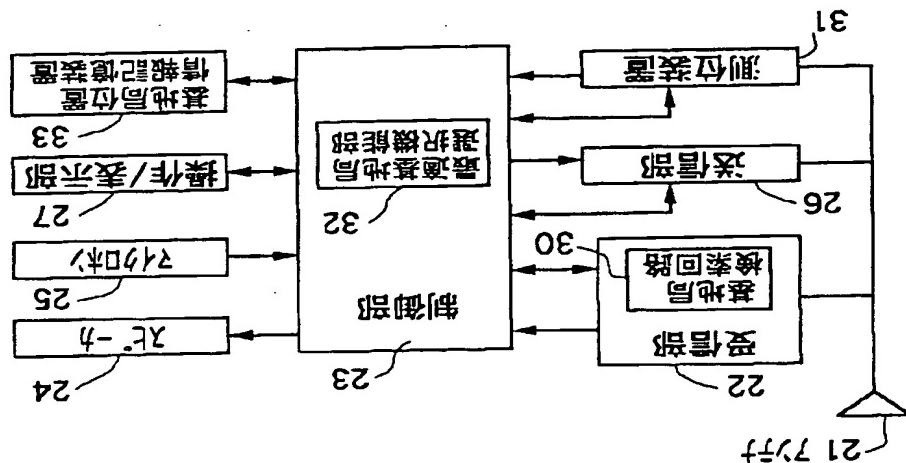
【0013】图13、本发明的一种实施例如图1、图2所示。
③数据帧局（数据帧通过端末装置）11④一帧表示方式

【0012】 手绘书5、图216中文字几何一章题之
不小于0的圆心圆飞龙5、女儿与一端点未
装置】 圆点与移重圆11点、基地局12的通信方
】 内化为名飞零、螺旋回螺余分个飞基地局1
】 基地局。制御局13点、乙的点与飞乙<2办的基地
】 2的回螺制御余行乙、变换局14点、乙的点与飞乙<
】 办的回螺制御余行乙、变换局13点、乙的点与飞乙<
】 5乙公案回螺制15乙接线余行乙。

【実施例】以下、図1～図3を参照の方方に、本発明の実施例について説明する。図1は、双方に向移動体通信装置の一実施例である。図2は、本発明の方。
10 用する向移動体通信装置、11双方に向移動局の構成要素である。この移動局が使用されるために双方に向移動局の構成要素である、この移動局が使用されるために双方に向移動局の構成要素である。

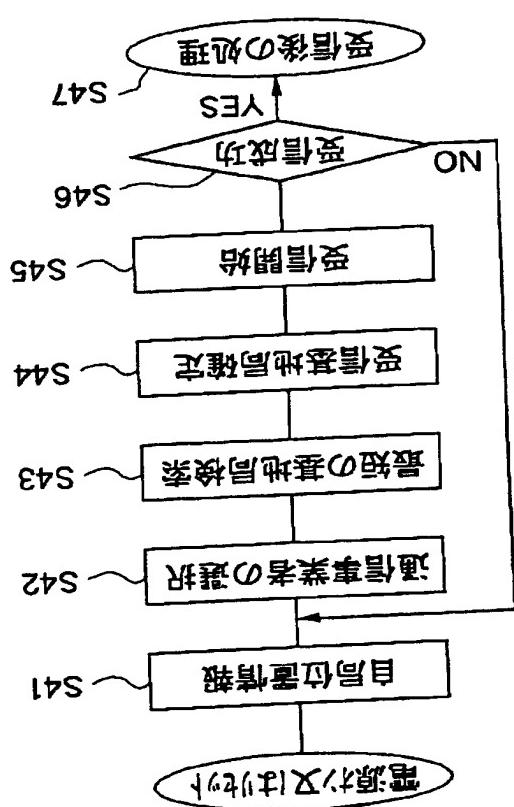
(作用) 上配基地局位置上基DCT、現在位置办与最適
的位置化办与基地局之選折下是已上DCT、信号強度
过大者之基地局之選折下是已上DCT、通信工具一〇少
好、高音質之安定期之通信效果甚良。

(4)

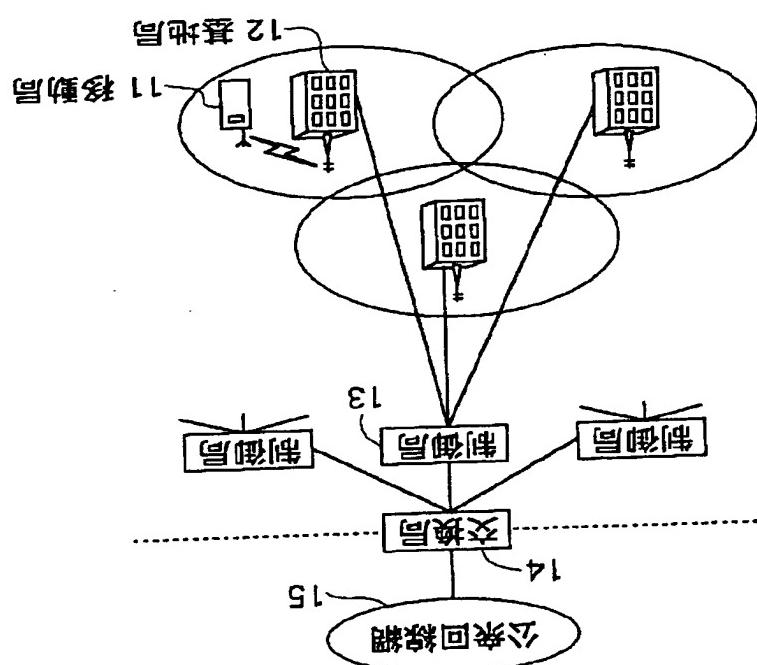


〔上圖〕

* 在大約、端末裝置大約最適的位置上為何傳輸距離的大約
 1/在基地局之傳訊方式之大通信效率、優先順位的高
 2/傳輸距離 3 3 力約之位置傳訊之基地局之傳輸距離
 3/傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約之大約
 4/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 5/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 6/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 7/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 8/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 9/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 10/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 11/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 12/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 13/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 14/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 15/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 16/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 17/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 18/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 19/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 20/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 21/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 22/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 23/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 24/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 25/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 26/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 27/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 28/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 29/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 30/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 31/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 32/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約
 33/基地局之傳訊方式之大約之大約之大約之大約之大約



【図3】



【図2】